

Data Literacy for ALL in KOBE

神戸市

神戸で初開催！

全国自治体職員と国家公務員を対象とした
自治体協働型データ利活用イベントを
神戸市で開催します

Data StaRt Award ～地方公共団体における統計データ利活用表彰～

実施：総務省

概要：統計データを利活用した優れた取組を進める地方公共団体に対する表彰制度

第6回（2021年）

●統計局長賞 受賞

ヘルスケアデータ連携システム
神戸市 健康局 健康企画課

概要

科学的根拠に基づく保健事業の推進による市民サービスの向上を目指し、医療・介護のレセプトデータや健診データなど、所管ごとに保有していたデータを連結・匿名化し、悉皆性の高いデータを分析を可能にする「ヘルスケアデータ連携システム」を新たに整備しました。

3年連続
受賞！！

第7回（2022年）

●総務大臣賞 受賞

データ分析をDIY
～神戸データラウンジ～
神戸市 企画調整局 政策課

概要

行政を取り巻く急激な外部環境の変化にスピード感を持って対応していくため、「外部の専門家まかせにせず、できることは職員自らやる！」というDIYの精神で、分析に必要なデータを収集する庁内データ連携基盤の構築や職員自らBIツールで作成したダッシュボードを安全に庁内で共有するデータ利活用の環境整備のほか、市民への分かりやすい情報発信、データ利活用人材の育成を、職員が中心となって進めました。



第8回（2023年）

今年も受賞

●特別賞 受賞

EBPMで創る人口戦略
神戸市 企画調整局 政策課

概要

人口減少の「抑制」と「適応」の2つの視点に基づく人口戦略をテーマに、「R」を使った重回帰分析により人口増に寄与する要因の分析を行ったほか、神戸市独自の将来人口推計や人口減少と公共サービスを重ねてみるダッシュボードを作成し共有することで、人口規模に応じた行政サービスを俯瞰的にみて議論することが可能になりました。

↓
多くの自治体から
視察依頼があるなど
特に関心が高い

神戸市から積極的に情報発信し、自治体間でもともに高めあいながらデータ利活用を推進したい！

Data Literacy for All in KOBE

開催済み

データので地域活性化～Data Literacy for ALL in KOBE～

2022年、11月15日、神戸市にて第1回開催を行い、5自治体・大学をはじめ企業の方など、多くの方にご参加いただきました。

セミナーのインプットだけでなく、自治体向けワークショップ(Code for Japan)、Tableau関西ユーザー会の同時開催で、神戸市データでの Viz大会、コミュニケーションをおこない、産官学連携でのコラボレーション機会となりました。



Code for Japan 東講師によるセミナー



登壇者の方



登壇者の方

同時開催: Tableau関西ユーザー会での神戸市データでの Viz大会

昨年、第一弾として
神戸市で初開催

Data Literacy for All

主催：株式会社セールスフォース・ジャパン
一般社団法人コード・フォー・ジャパン

地域社会を支援するためデータスキルに関する
トレーニングを提供するイベント

神戸市職員が
トレーニング提供に
企画から実施まで
主体的に参画した
初のイベント

今年度のData Literacy for All in KOBEは・・・

全国自治体職員と国家公務員を対象とした
自治体協働型データ利活用イベントに発展

イベント概要

イベント名：Data Literacy for All in KOBE

開催日時：2023年12月8日（金） 10:00～16:30

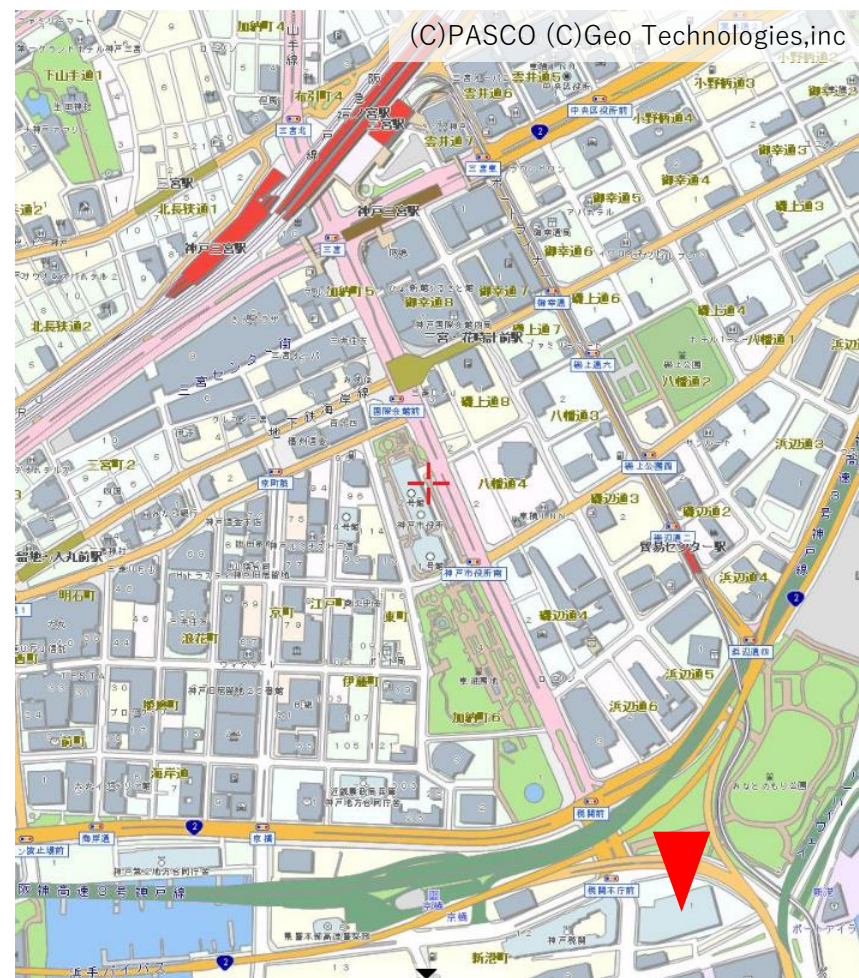
場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）301

主催：一般社団法人コード・フォー・ジャパン
株式会社セールスフォース・ジャパン

後援：神戸市

対象：神戸市のDXに関する取組に関心がある官公庁、自治体職員

※イベント終了後、別途11月に発足する
Tableau自治体ユーザー会の第2回を開催



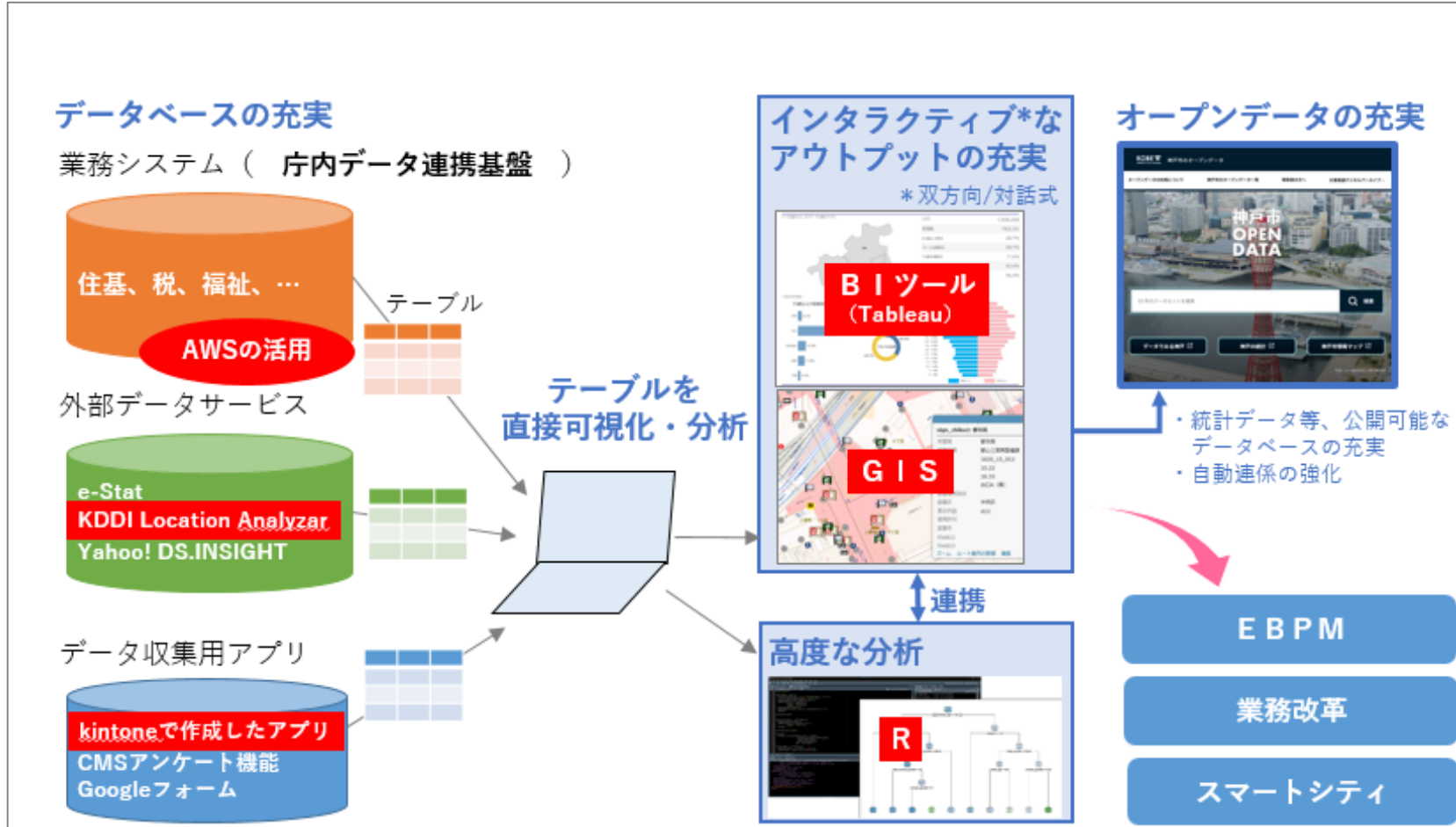
プログラム（予定）

開始時間	所要時間(m)	登壇者氏名	部署・役職	講演タイトル	講演概要
10:00	10	佐々木道代	株式会社セールスフォース・ジャパン 執行役員 Tableau事業統括 公共・広域営業本部 本部長	オープニング	変化の時代のデータ利活用、データリテラシーの重要性と業務への活かし方について
10:10	10	正木 祐輔	デジタル監（企画調整局局長（DX担当））	神戸市のデータ利活用の取組	神戸市のデータ利活用、EBPM推進に向けた取り組みの全体像をお話します。
10:20	15+5	石田 真智	企画調整局デジタル戦略部ICT業務改革担当	～自治体DX先進地の神戸市徹底解説！～ 1. プラットフォーム編（AWSなど）	データ連携基盤の構築から業務改革への応用例まで、神戸市でのAWSの活用状況をご紹介します。
10:40	35+5	宇都宮 哲平(kintone) 平川 詩帆(GIS) 柳澤 愛理(KLA) 堀上 侑紀（R）	企画調整局デジタル戦略部デジタル化専門官 企画調整局政策課データ利活用担当 企画調整局政策課データ利活用担当 企画調整局デジタル戦略部ICT業務改革担当	～自治体DX先進地の神戸市徹底解説！～ 2. 業務アプリケーション編	地理情報システム（GIS）や位置情報分析ツールなど、神戸市で活用している様々なツールについて、デモを交えながらご紹介いたします。
11:20	15+5	松尾 康弘	企画調整局政策課係長（データ利活用担当）	～自治体DX先進地の神戸市徹底解説！～ 3. EBPMでのデータ実践編 （Tableauなど）	企画調整局政策課でのTableauに関する取り組みをじめ、特に近年神戸市が力を入れている人材育成、今年のData StaRt Awardで特別賞を受賞した取組「EBPMで作る人口戦略」などについてお話します。
11:40	80	-	-	休憩	-
13:00	15+5	奥島 紳司 山田 洋介 倉田 直輝 小島 啓文	交通局経営企画課係長（経営企画担当） 消防局総務部総務課企画係長 消防局総務部総務課企画係 水道局経営企画課係長（DXライン）	各局のTableau Viz事例紹介	今年度を実施した各局ダッシュボード研修の中から、投票で市長報告作品に選ばれたダッシュボードを3つご紹介いたします。各ダッシュボードの作成者がデモをしながらご説明します。
13:20	60	中川 雅也	企画調整局政策課データ利活用担当係長	Visualization 実践編 ～神戸市による自治体データ分析のためのTableauハンズオン～	Visualizationの実践編として、セルフBIツールのTableauを活用しデータを可視化、分析する手法をハンズオン形式で学んでいただきます。（この体験会はTableauを使ったことのない方、もしくは初級者を対象とした内容となっております。）
14:20	10	-	-	休憩	-
14:30	120(案)	ファシリテーターとサ ポート 神戸市・Tableau		Visualization 実践編 ～参加型TableauViz 大会～	「思考のスピードでデータを可視化」チーム制で、Viz（Tableauで作成したビジュアルライズされたグラフや表）を作成、完成したVizをチームごとに発表いただきます。
16:25	5	司会	-	クロージング	-

主なプログラム① 神戸市のデータ利活用について徹底解説！

様々なツールを活用したデータ利活用の内製化について、**神戸市職員がデモを交えて解説**

様々なツールを活用したデータ利活用の内製化



AWS

ガバメントクラウドへの移行など全国に先駆けて積極活用

kintone

全庁で2000ライセンス以上使用

KDDI Location Analyzer

施設利用者の居住地分析などに使用

Tableau

職員が作成したダッシュボードを全庁共有

GIS

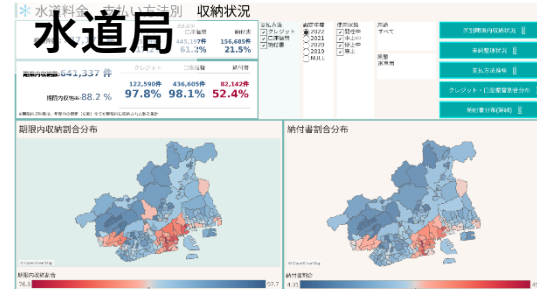
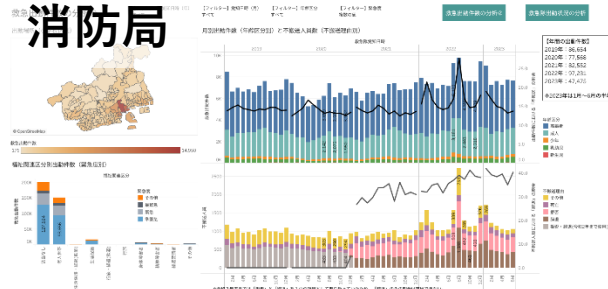
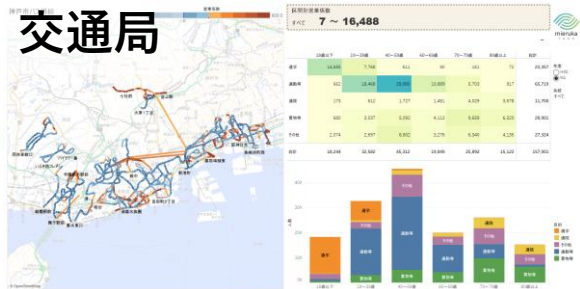
毎月約1500人が使用

R

昨年度23人が研修を受講
今年度も18人が受講

主なプログラム② BIツール（Tableau）を活用したワークショップ

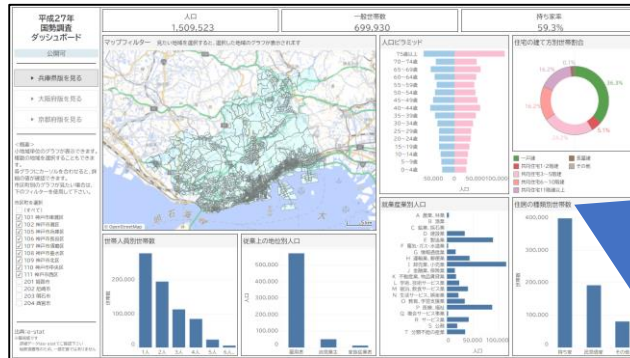
各局のTableau Viz事例紹介



各局の作成者が
デモを交え紹介！

ハンズオン研修

行政職員が目線で作成した実際に神戸市で使用しているダッシュボードをハンズオン形式で参加者自ら作成



講師



講師：中川 雅也
自治体初のDATA Saber！

ワークショップ

各チームに分かれて、課題に対し、実際にTableauを使って可視化・分析し、発表

育成した豊富な人材を生かし
各チームにメンターとして
神戸市職員を配置！